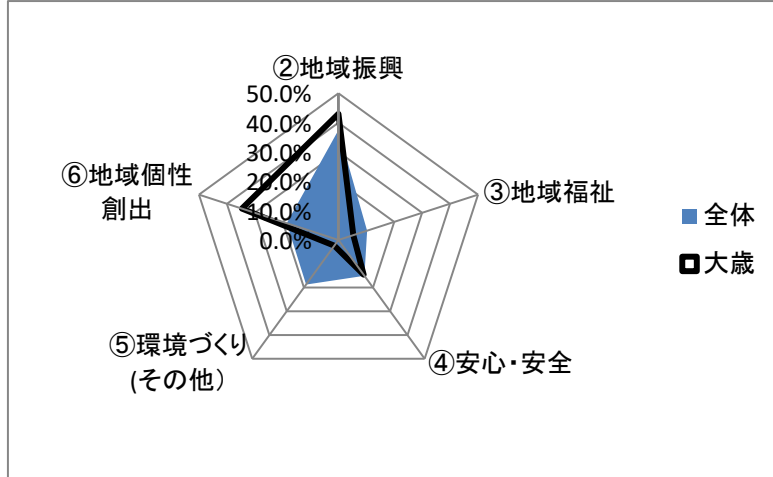


大歳自治振興会 地域づくり交付金事業概要(令和2年度)

■地域の情報

地域人口	13,965人	自治会数	29
世帯数	6,794世帯	自治会加入率	63.5%

※数値は、令和3年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	11,630,000 円
交付金決算額	11,174,966 円
その他収入	50 円
交付金決算額／配分額	96.1%

各分野の決算

①協議会運営	6,127,781 円
②地域振興	1,308,599 円
③地域福祉	162,964 円
④安心・安全	444,176 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,004,000 円
⑤環境づくり(その他)	74,240 円
⑥地域個性創出	1,053,256 円
決算総額	11,175,016 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

大歳地区の住民が生き生きと安心して暮らせる住みよい地域づくりを推進する。
「みんなでつくろう、明るく住みよいおとしを」

■総括

第3次地域づくり計画の2年目でコロナ禍の中、事業の大半は中止せざるをえなかった。地域づくり広報誌「かわら版おとし」は新たに子育て世代のモニターをまきこみ内容の刷新を図ってきた。同時に、インターネット上では、フェイスブックやブログで地域の最新情報を地域住民に届けた。また、地域づくりの担い手となる人材の育成を大きな課題と考え、たくさんの活動を通じて担い手づくりを模索してきた。しかしながら、当地区の人口は年々増加しており、若い世代の転入も多いものの、人材が見つからない。通学路の交通安全対策として、一方通行や変則信号機を導入。朝の時間帯での通過車両は大幅な減が図られた。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長1名、事務員2名の事務局人件費及び事務費
② 地域振興	地域情報の収集と発信、あいさつ運動の推進
③ 地域福祉	高齢者支援体制の充実、子育て支援の充実、子ども会活動の活性化
④ 安心・安全	生活安全(防犯)対策の充実、交通安全対策の充実、災害安全対策の充実、見守り体制の充実
⑤ 環境づくり	環境美化活動の推進、法定外公共物等の整備
⑥ 地域個性創出	自治会内の交流促進、地域内の交流促進、住民総参加による地域の活性化、ふるさと大歳の伝承、花いっぱいの大歳づくり、交流列車おとし(大歳駅)の活用

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	自治会内の交流促進	決算額	660,228円
	目的	自治会内のふれあい事業を実施することにより地域の交流を深める。		
	実施内容	①1自治会1事業の実施促進 ②大歳地区一斉清掃の周知・支援 ③三世代交流ラジオ体操の実施支援		
	実施時期	①通年 ②10月第3日曜日 ③夏休み期間中		
	参加人数	①11自治会977人 ②24自治会2,316人 ③7自治会2,389人		
	成果	継続した関連事業の実施を促進してきたことで、自治会内での交流促進が活発化しつつある。年々取り組む自治会が増えていたが、コロナ禍で取り組む自治会が減少。		
	評価	各事業を通じて、自治会内の地区住民の交流が図られ、合わせて地域づくりに対する意識の向上が認められる。		
	今後に向けて	関連事業実施自治会の拡大を推進し、地域全域での自治会内の交流促進を図る。		
②	事業名	あいさつ運動の推進	決算額	415,811円
	目的	みんなが誰とでも積極的にあいさつすることにより、地域と子どもたちが明るくふれあう。		
	実施内容	①おとし見守り隊、PTA等と連携したあいさつ運動の展開 ②協育ネットと連携したあいさつ・見守りカレンダーの作成		
	実施時期	①通年 ②3ヶ月に1回		
	参加人数	おとし見守り隊67人、PTA、地域の方多数		
	成果	登下校時の立哨を行い、立哨者と児童とのコミュニケーションが図られている。		
	評価	あいさつは防犯にもつながり、一定の成果が認められる。		
	今後に向けて	さらに見守り隊登録者を拡大し、PTAとの連携も強化する。		
③	事業名	ふるさと大歳の伝承(史跡看板の設置)	決算額	173,965円
	目的	あらゆる地域に史跡・旧跡看板を設置し名所・旧跡をアピールする。		
	実施内容	史跡・旧跡看板を設置し、地域のPRを行った。		
	実施時期	通年		
	参加人数	今年度2か所に設置。		
	成果	ブログやTwitterを活用し大歳地区内の町並を参加者の目線で再発見しPRを行うことができた。		
	評価	史跡マップも作成し、地域の歴史を再発見することで地域愛をほぐくむことができた。		
	今後に向けて	取組みを継続し、地域内の魅力ある場所を発信していく。		